

平成30年度事業報告

富谷市まちづくり産業交流プラザが完成し、更には開宿400年を控え、市民総参加での力強いまちづくりの息吹が伝わる中、平成30年7月念願の「拠点」を得、移転入居し、新規事業に取り組む等、設立15周年を迎え、エネルギーに活動し、着実にステップアップを体感できた1年であった。

政治社会面では、アメリカファーストの名のもと、多国間で防衛・貿易・関税・難民等をめぐり、トランプ大統領の方策に翻弄され続けた年でもあった。

さてシルバー人材センターの環境は、言われ続けている超高齢化社会、若手労働者不足を背景に、都市部への人口偏重・過疎化の急進行・限界集落の危機・外国人就業者の急増・空き家物件の増加・異常増殖接近の害獣・環境保全の担い手不足等、幾多の社会問題が急速に顕著となり、ここに公益法人としての使命である地域に根差し、社会貢献する我々の存在意義と、就業機会の好機が埋蔵されていると思慮される。

この視点で事業の推進と社会奉仕を実施し、地域に認知評価されるシルバー人材センターを旗印に、事業拡大に取り組み、受注実績は1億円越えをした派遣事業を筆頭に、各部門に併せ、就業開拓員によるチラシ各戸配布を行う等、諸施策を実行し、基本計画を上回る会員数の確保で推移できた。

安全適正就業については、推進委員を通して事故ゼロを目指し、講習会や情報発信・安全パトロール等により指導啓発を図り、事故件数の減少・重篤事故ゼロを実現できた。

今後の方向性として重視すべき福祉家事援助、介護・ワンコインサービス・小物製作販売・室内管理清掃・空き家対策等の量の拡大の土台固めに努め、大きな感触を得られ、なおこの分野は女性会員の就業増も期待され、大事な視点と捉え、拡充を図っていきたい。

これからもシルバー理念の下、各種活動を通じて会員の社会参加、健康維持促進・生きがい・仲間づくりを創出し、高齢者の居場所である公益法人に向け推進中である。

○平成30年度事業計画と事業実績、達成率

項 目	事業計画	事業実績	達成率
正 会 員	490 人	500 人	102.0%
特別会員	2 人	1 人	50%
賛助会員	15 人	12 人	80%
受注件数	1,680 件	1,786 件 (内派遣 66 件)	106.3%
受注契約金額	270,000 千円	265,562 千円	98.4%
(受託事業)	(170,000 千円)	(162,747 千円)	(95.7%)
(労働者派遣事業)	(100,000 千円)	(102,815 千円)	(102.8%)
就業延人員	55,000 人日	52,675 人日	95.8%
就 業 率	93%	93.4%	100.4%
粗 入 会 率	3.70%	3.71%	100.3%

1. 就業開拓提供事業

より多くの会員に就業の機会を提供するために、高齢者の知識、技能、経験を把握分析し、法令遵守を念頭におきながら、お客様、地域のニーズに対応する仕事の受注を目指すため、以下のことを実施した。

- (1)チラシの配布（富谷市全域毎戸）
- (2)就業機会開発員・理事・会員・職員による就業機会の開拓
（事業所訪問、一般家庭訪問、会員のロコミ等）
- (3)会員募集(毎戸チラシ、新聞)

2. 普及啓発事業

地域社会にシルバー事業への理解と高齢者の加入促進を図るため、以下のことを実施し、また独自事業「ギャラリーなごみ」を運営し、しんまち通りの活性化に貢献するとともに女性会員の就業の場を創出した。

- (1)普及啓発月間における活動
- (2)チラシ配布
- (3)会報の発行
- (4)ホームページによる情報公開
- (5)広報紙、新聞等に会員募集を掲載
- (6)市の公民館まつり等への参加・協力
- (7)「ギャラリーなごみ」の新聞、雑誌への掲載、テレビ等での放映

3. 調査研究

会員の就業率の向上、発注者に対するサービス（マナー）内容の改善・充実、さらには新たな就業等の活動機会開拓の方策を実施するために行っており、以下のことを実施した。

- (1)お客様満足度調査の実施(個人発注者及び企業に対するアンケート調査)

4. 相談事業

一般高齢者及び会員、育児支援利用者を対象に、以下のことを実施し、就業等に関する情報を提供した。

- (1)入会説明会 毎月1回開催、そのほかに出張入会説明会の開催
- (2)就業相談 随時
- (3)育児支援相談 随時
- (4)家事支援相談 随時
- (5)会員対象に面談を実施 随時

5. 安全・適正就業の推進

仕事の品質の向上と確保を図り、事故ゼロ・クレームゼロを目指し、顧客の信頼向上

に努める。毎月1日と15日を「安全の日」と定め安全意識の高揚を図り、また各就業現場において危険予知活動を行い、事故を未然に防ぐよう努めた。

- (1) 毎月安全・適正就業委員会の開催
- (2) 安全パトロールの実施(年間11回実施)
- (3) 安全・適正就業推進大会の実施
- (4) 安全標語の募集及び表彰
- (5) 適正就業の普及推進(派遣事業の拡大強化)

6. 会員増強の促進

事業計画の目標値をもとに、会員の加入促進を図った。

- (1) 入会説明会の実施(毎月1回)・出張入会説明会の開催
- (2) 市広報紙・新聞への会員募集の記載
- (3) 女性部会主催で会員及び一般女性を対象に「介護を必要としないエクササイズ」と「男の料理レシピ会食」の開催(P R活動)

7. ワークプラザ施設活用

市当局のご理解とご配慮により、「富谷市まちづくり産業交流プラザ」に拠点を構えることができた。2020年の富谷宿開宿400年の節目を迎えるにあたり、地域に根差し市民から信頼されるシルバー人材センターを旗印に、地域の活性化への貢献と奉仕に努め、事業運営の更なる推進の弾みとなった。

8. 福祉・家事援助サービスの推進

市が推進する子育て事業や、高齢者世帯の増加が進む中、地域住民の福祉ニーズに応えられるよう、福祉家事援助サービスに対応できる会員の加入促進と、現会員のスキルアップのための研修会を開催した。

- (1) 育児支援サービス
 - ア. 子育てサロン「ほっと育く」の継続運営
 - イ. 子供の一時預かり
 - ウ. 子育てサポータースキルアップ講習会の実施(講師招聘、外部講習会)
- (2) 家事援助サービス
 - ア. 高齢者及び子育て世代への家事援助
 - イ. ワンコインサービス事業

9. 社会参加活動の推進

「自主・自立、共働・共助」の精神を高めるためにも、ボランティアや社会参加を通して、地域社会への貢献と連携を深めた。

- (1) 子供達の安全・安心を守る巡回活動
- (2) 「市公民館まつり」への参加協力

(3)「シルバーの日」の公民館等の清掃作業等の実施

10. 地域就業機会創出・拡大事業の取組

事業2年目にあたり、5月既存の茶畑にて初茶摘み式を実施し、7月には購入した苗木を定植し冬囲い等手入れを施した。10月の街道まつりでは多くの市民の方々に富谷茶を振る舞った。2月には寒茶作りを行い番茶を試飲した。

実施内容についてはチラシを作成し、町内会を通じて全戸配布を実施した。

11. 事業運営の効率化及び財政健全化の推進

事業運営にあたって、業務の効率的運営を図り、また公益目的基準に適合するよう財政の健全化に取り組んだ。

(1)不要支出の洗い出し

(2)消費節約の励行

(3)会計基準の変更による、内部監査の実施